

# 紫峰会報

第 82 号

2002年 9月25日発行

E-mail admin@shihoukai.gr.jp

URL http://www.shihoukai.gr.jp/

編集・発行 紫峰会[筑波大学学生後援会] 〒305-0005 茨城県つくば市天久保3-10-7学園都市ビル3F Tel 0298-52-8572

## 筑波大学ダンス部 2年連続文部科学大臣賞

「きゃー！やったー！！」発表の瞬間、全員が我を忘れて抱き合い、歓喜に溢れ返った。

本選の演技を終え、各特別賞などが一つ一つ発表され、筑波大学はまず「音響の工夫に対する特別賞」を受賞した。しかし目標である“その賞”を信じて全員で手を握りあって発表を聞く。NHK賞の発表を終え、最後の賞の発表。特別賞とのダブル受賞は過去に例がない。「もしかしたら...」そんな考えが皆の脳裏をかすめたその瞬間、「文部科学大臣賞.....幻唱～幻と現の交錯するところ～、筑波大学ダンス部」と発表された。二連覇に加えて音響とのダブル受賞というのは筑波大学ダンス部創部以来初めての事で、部員始め関係者一同喜びに包まれた。



ダンスの甲子園とも称されるこのAll Japan Dance Festival～Kobe～は、毎年参加校が増え続け今年も百校以上のせめぎ合いになった。この大会の主旨は、「若者が何を考え、何を求め、何を悩み、何を願うのか...、同世代の若者達に、そして社会の大人達に、声にならない想いをからだにのせ伝えていこう」とされている。

この大会では、10項目の審査基準により評価され、それぞれの基準毎に賞が与えられる。そしてそれら基準の総合点が一位となったものに、創作作品の完成度が最も高いとされる文部科学大臣賞が与えられるのである。

また、作品創作にあたり、舞台の広



文部科学大臣賞を受賞した作品“幻唱～幻と現の交錯するところ～”のクライマックス

さと作品時間そして人数が制限される他は、それぞれの学校が、テーマ・ダンサーの配置構成・踊りの振り付け・音楽・衣装・小道具・照明といった全てをオリジナルで考案する。そしてそれをこの大会で演じ踊るのである。

今回、私たちは「人間はなぜ踊るのか」というダンスの根源に立ち返り、本来の自分の在り方に出会うことをテーマとした。腹の底から湧き上がるような声と重低音が響き合うアフリカの民族音楽を使い、体から湧き上がる胴体の動きを中心に振りを作成した。“生身の人間感”を出すために衣装にも工夫を凝らし、上半身は肌の色に近いものなるべく体に沿わせ、下半身は土の色に近いもので風に自然になび



踊り尽くしたラストシーン

くようなデザインにした。

好成绩をおさめ、まずはほっと胸を撫で下ろしているが、これから創作ダンス界の代表として発表をする数々の舞台こそが本当の筑波大学ダンス部の真価が問われるときなのではないかと思う。部員一同気を引き締めこれからの様々な舞台に向け、人に何かを訴えかける、そして心に響く踊りを創り続けて行きたいと思う。

今回応援をして下さった多くの方々に感謝致します。これからどうぞ宜しくお願い致します。(寄稿/ダンス部主務 戸井田奈那・体育3年)

## 今後の予定(2002学年暦より)

10/1	図書館情報大学・筑波大学統合
10/12-14	第28回雙峰祭
10/26・27	秋季スポーツ・デー
11/19-25	第二学期期末試験
11/26-30	秋季休業
12/2	第三学期授業開始
12/26-1/7	冬季休業

# Campus News

## 平成 14 年度第一学期末卒業式 第二学期入学者入学式開催

7月25日(木)午前11時より平成14年度第一学期末卒業式が、午後1時より同大学院学位記授与式が、大学会館特別会議室において行われた。卒業式では、菊池副学長より学群28名、大学院44名の卒業生一人一人に学位記が手渡された。

二週間後の8月8日(木)午前11時より第二学期入学者入学式が、同会議室にて行われ、学群学類生24名、大学院生5名が新たに筑波大となった。北原学長は「21世紀をリードする積極的な人間になって欲しい」と式辞を述べた。

## まつりつくば開催

つくば市のお祭りである「まつりつくば2002」(主催つくば市まつりつくば実行委員会)が9月7・8日に、つくば市中心街で行われた。

7日、メイン会場である土浦学園線は午後6時より交通規制となり、パレードが始まった。市民パレードでは、周辺の小・中学校のブラスバンドや、国際色豊かなエキゾチックパレードなどが観客の目を楽しませた。つづいて「みこしパレード」がはじまり周辺市町村各地の伝統的なみこしが登



ねぶたを威勢良く引く筑波大生。そして最後に名物の青森のねぶたが登場し、観客も拍手で出迎えた。3台のねぶたのうち1台は、やどかり祭実行委員を中心とした筑波大生が担ぎ手となり、力強い太鼓の音に乗って威勢良く練り歩いた。またつくばセンター広場周辺の会場では、バザー広場やふれあい広場が行われ、そして新企画の「つくばアートフェスタ2002」には、筑波大学マジシャンズクラブも登場し、国内外の大道芸と腕を競った。

翌8日には国内最大級の「つくば万灯みこし」なども行われ、つくばの夏の終わりを彩った。

## 施設一新!生まれ変わるキャンパス

現在筑波大学では、開学30周年記念事業として、キャンパスのリニューアルがあちこちで行なわれている。これは、学内施設をより利用しやすく改善するだけでなく、新たな研究棟の建設や大学内の交通システムの再整備をも盛り込んだ非常に大がかりなものである。

これまでに改善されたのは、食堂と学生控え室である。これらの施設は、

休憩・談話の場であるにも関わらず、老朽化による暗さが悩みの種だった。しかし、たびたび開かれた公聴会やワークショップで、学生と教官が共にアイデアを出し合った結果、見違えるほど明るく機能的な空間に生まれ変わった。中でも今年6月に完成した体芸食堂が目を引く。この食堂では、W杯の折に、日本代表の写真展や、対ベルギー戦をスクリーンで中継観戦するイベントが行なわれた。人が集まって共に楽しめる空間として食堂を位置付ける視点が新しい。今後はメニューや営業時間などを検討し、より充実した施設を目指すということである。

また、以前はこれといった目印がなく分かりにくかった大学の中央口に、御影石製の案内表示塔が建てられた。T字をかたどったこの表示塔には、「筑波大」、「トップを目指す」、「サーティー(30周年)」の意味が込められているという。昼間はどっしりと構えているこのT字は、夜になるとライトアップされ、なかなか幻想的である。筑波大の新たなシンボルとなるかもしれない。(取材/芸サ連広報局員 大久保直美・日2年)



大学中央口に作られた案内表示塔

就職ガイダンス等日程表		就職課では、下記の日程にて就職ガイダンス等を開催しております。お子様に参加されるようお勧めください。お問い合わせ 学生部就職課 0298-53-6091・0298-53-2256				
企画名	日時・場所	講師	実施内容	備考		
就職ガイダンス	第8回	10/2 13:45～2H201	就職内定学生各学類・研究科から8名	内定者報告会		
	第9回	10/9 13:45～2H201	資生堂化粧品 小林 進 氏	業界研究(製造業(化学工業))		
	第10回	15:10～同上	味の素(株) 瀧口 卓朗 氏	業界研究(製造業(食品))		
	第11回	10/16 13:45～2H201	NTTコムウェア 刑部 健 氏	業界研究(情報サービス)		
	第12回	15:10～同上	(株)毎日コミュニケーションズ 望月一志 氏	講演「理系(技術系)の就職活動」		
	第13回	10/23 13:45～2H201	近畿日本ツーリスト 今井 克彦 氏	業界研究(旅行)		
	第14回	15:10～同上	(株)カネミ産業人材育成機構 井上 晋次 氏	業界研究(アパレル業)		
	第15回	10/30 13:45～2H201	(株)コエテック総合研究所 長瀬 要石 氏	業界研究(調査・コンサルティング)		
	第16回	15:10～同上	月刊「創刊」編集長 藤田 博之 氏	業界研究(マスコミ・出版)		
	第17回	12/11 13:45～2H201	国際協力事業団・筑波国際センター 国際協力センター 国際協力 等	国際協力機関	パネルディスカッション形式で関係事業等説明	
	第18回	12/18 13:45～2H201	096-1就職ジャーナル 編集長	就職活動直前の心構え及び就職環境について		
	1・2年向け	11/13 13:45～2H201	ディエロ(日経就職ガイド) 業務推進部 山崎 敏宏 氏	講演「未定」	就職適性検査実施 無料	
	教養講義	第3回	11/13 13:45～2H101	(株)IPUコーポレーション 採用コンサルタント 菊地 信一 氏	エントリーシート実践講座	事前提出のエントリーシートを基にした個別指導(要事前申し込み)
		第4回	12/4 13:45～2H201	学生援護会講師	適性検査実践講座	適性検査の実施(要事前申し込み)
		第5回	12/13 13:45～2H201	(株)IPUコーポレーション 採用コンサルタント 菊地 信一 氏	模擬面接実践講座	企業の人事コンパニオンによる面接体験(要事前申し込み)

特集

親子のコミュニケーション

筑波大学の9割以上の学生が、学生宿舎や大学周辺のアパートで、親元を離れ一人暮らしをしています。親御さんにとっては、子供がどのような生活を送っているのかは最大の関心事であり、お子さんの様子を知るために様々な形でお子さんとのコミュニケーションを取られていると思います。私も親と電話で話をしている、ふと「他の人は親とどのようにコミュニケーションを取っているのだろうか?」という疑問が浮かび「親とのコミュニケーション」について調査してみることにしました。調査方法は、サークルや友人等に協力してもらって学生にアンケートを配布し、回収した140名について集計しました。

まず、コミュニケーションの頻度に関しては、1・2年生は週に1~2回、

Q.コミュニケーションの頻度について(グラフ1)



それ以上の学年では月に1~2回が最も多くなっていました。特に、週に1回以上の頻度で連絡を取っている学生は、1・2年生で6割以上であるのに対して、3年生以上では3割程度、大学院生で殆どいませんでした。学年が上がるにつれて、あまり連絡を取らなくなっていくことが明らかになりました(グラフ1参照)。

コミュニケーションの手段については、時代を反映してかEメールの利用も目立っています。電話とEメールを併用している学生も少なくありません。かなり少数派ですが、手紙のやりとりをしている学生もいました。通信手段が発達した現在、手紙の利用率はめっきり減りましたが、逆にその分ありがたみが増したようで「親からもらう手紙が嬉しい」といった回答がいくつか見られました。

次に、コミュニケーションの内容に関してですが、新入生では仕送りや体調のことなどの話題の中心ようです。まずは、勉強よりも始めたばかりの一人暮らしの生活のことで連絡を取り合う必要があるからでしょう。新入生とは対照的な傾向を示したのは大学院生で、日々の出来事を話している割合が最も高くなっています。大学院生にもなると、既に4年以上の一人暮らしの中でそれぞれのライフスタイルが確立されていて、生活に余裕が出てく

Q.会話の内容について(グラフ2)



るためなのかもしれません。また、4年生以上では、勉強・進路について話している学生の割合が高くなっているのも特徴的です。厳しい就職状況が続く昨今、進路や就職活動のことで親御さんと連絡を取り合う機会が多くなるのかもしれません(グラフ2参照)。

自分自身のことを振り返ってみても一人暮らしを始めたばかりの頃は、困ったことがあればすぐに親に電話をして頼っていたのに、生活に慣れ一人暮らしを謳歌するようになると、実家にもなかなか帰らなくなったり、電話で生活のことなどを注意されたりするとなつてしまっています。しかし、やはり親は最も身近で最も頼りになる人生の先輩です。我が儘かも知れませんが、いざというときには頼りになる、いつまでもそんな助言者として私たちを暖かく見守っていて欲しいと思っています。(文サ連広報局長 徳若和紀・資源2年)

学生相談室から

受付窓口 0298-53-2415  
電話相談 0298-53-2406

「ペデを歩きながら思ったこと」

杉江 征(心理学系)

大学はもう二学期が始まり、そろそろ学園祭が近づいてきている頃です。この頃学内を歩いていていると、4月の頃と講義棟付近の風景が変わってきていることにふと気が付きます。

4月の頃は、講義棟付近にはピカピカの自転車がびっしりと並んでいて、その自転車の列を避けながら歩いていると、なかなか講義棟にたどり着けないといった感じです。でも、夏休みも過ぎてしまえば、講義棟への道(通称ペデ)が通りやすくなって

いることにふと気が付きます。授業の時間割が変わったせいか、それとも、自主的に授業をお休みする学生(これを自主休講ともいう)が増えてきたせいかはわからないのですが、とにかくピカピカの自転車の大群がいつのまにか目立たなくなり、大学の自然な風景の中に溶け込んでいっているのです。

4月、新入生の方々は、全国あちこちからこの新しい地に集まってきて、一人で大学生活を始めます。期待と不安を交えながら新しい仲間たちと知り合い、大学での授業というものに接し、サークル活動などに入っていきます。5月の連休でちょっと一息ついて、また駆け足のように一学期を過ごしていきます。そして、6月末に期末試験という大きな洗礼を受けて、やっとひと段落して夏休みを迎えます。夏

休みには、旅行やサークル活動、アルバイトや帰省など思い思いの時を過ごして、また、9月に戻ってきます。よくわからないままあれよあれよと一学期を過ごして、夏休みにちょっとホッととして、やっとこの時期、地に足の着いた自分らしい歩みが始まるのかも知れません。

1年生諸君は「大学生活」を物語にたとえるならば、ちょうど物語の序章が終わり、これからそれぞれの物語の本論に取り掛かり始めたところといえるでしょう。一方、4年生は、就職活動や大学院の試験という大きな山を越えつつあり、自分たちの物語の最後の仕上げに取り組み始めています。学生相談室では、学生たちのそれぞれの物語が納得のいくものになるよう一緒に歩いていきたいと思っています。

## 第49回紫峰会理事会

去る6月22日(土)午後3時より、筑波研修センター第2研修室において、第49回紫峰会理事会が開催され、下記の各議題について審議された。

平成14年度役員について

第48回理事会の時点で会長一任となっていた交代役員2名について、榎田順二氏、鈴木和男氏が選任されたことが報告された。

平成13年度事業報告書が承認された。概要は次の通り。

年度末時点での平成13年度入学者父母等(学群・短大)の入会率は64.5%となり平年を下回った。大学院平成13年度入学者父母等の入会率は13.5%であった。平成14年度に向けて、入会率の向上を目指し入会案内の改訂を行った。

UTコレクションの新商品23品目を追加し、学内販売および通信販売を行った。また、この制作ノウハウを生かした受託制作の売上げが好調であった。

本年度新たに実施した事業は、卒業記念CD-ROMの制作。その他、学生向けのDTP関連サービス、団体等のOB会事務サポート、追越店舗の運営

などの充実を図った。

平成13年度収支決算書が承認された。概要は次の通り。

平成13年度収支決算書は、一般会計と収益事業特別会計にそれぞれ収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表を作成し、併せて総括表の作成を行った。なお、収支科目については、公益法人会計基準に基づいて設定した科目となっている。

一般会計の収支計算書・収入の部では、大部分を会費が占めており、その他貸付金返還収入・預金利息・寄付金等となっている。また、支出の部では、支出総額に対する各事業の割合は、課外活動助成事業費が50.6%であり、このうち助成金支出は22,749,464円(父母等会費収入の55.6%)、学生生活支援事業費は12.8%、広報普及事業費は21.5%、管理運営費は15.2%であった。会費収入は一昨年よりは回復したものの目標額には達せず、4,094万円にとどまった。

収益事業特別会計では、営利的部門(UTコレクションや付随的事业など単独で黒字化を目指す事業)と非営利的部門(厚生会業者としての追越店舗運営・コピー印刷サービス・OB会サポートサービスなど会費等からの補填を前提とする事業)となっている。収

益事業収入は昨年の1,700万円から約2,586万円と増加したが、事業の立ち上げに際して初期投資があったことから支出合計は約3,488万円となった。

一般会計の収入の落ち込みに加えて定額貯金解約時の利子課税や収益事業の初期投資の支出などで、収支は大幅に悪化し、全体での次年度繰越額は初めてマイナスとなった。

また、伊能・吉永両監事より理事会に先立って行われた監査について、関係諸帳簿の記載等会計の処理が公正であることが報告された。

平成14年度収支予算書及び平成14年度事業計画書が承認された。概要は次の通り。

平成14年度の事業計画書及び収支予算書の作成にあたり、これまで追加・組み替えを繰り返してわかりにくくなっていた事業を9分野(図参照)に整理し、新しい事業分野毎にそれぞれ見積をたてた。また、これまで確定申告における会計区分により一般会計と収益事業特別会計としていたものを、NPO法第5条に則し、本来事業にあたるものを「一般会計」、本来事業ではない収益を得るための付随的事业を「付随的収益事業特別会計」とした。

平成14年度予算収入の部では、父母等会費収入の回復や協賛会費の獲

### 平成13年度課外活動団体援助金配分額ランキング

順位	団体名	援助金額
文サ連(全33団体中上位10団体)		
1	海洋研究会	323,260
2	天文研究会	121,641
3	ESS	118,666
4	航空部アイオロス	78,668
5	ITC	64,637
6	野生動物研究会	63,086
7	マジシャンズクラブ	59,621
8	鉄道研究会	59,241
9	歴史探訪会	58,959
10	茶道部和敬清寂社	58,760
芸サ連(全27団体中上位10団体)		
1	舞踏研究会	890,904
2	管弦楽団	568,552
3	混声合唱団	241,988
4	無絃塾	198,202
5	応援団桐葉	195,439
6	吹奏楽団	148,624
7	ELL	145,033
8	JAZZ愛好会	118,934
9	筑波能狂言研究会	110,648
10	つくばフォーク村	93,495
体育会(全55団体中上位15団体)		
1	陸上競技部	420,872
2	アイスホッケー部	399,000
3	男子バスケットボール部	380,075
4	蹴球部	357,999
5	硬式野球部	326,132
6	水泳部	325,523
7	硬式庭球部	292,031
8	卓球部	276,547
9	バドミントン同好会	264,448
10	男子ハンドボール部	255,879
11	オリエンテーリング愛好会	253,473
12	女子ハンドボール部	234,743
13	アイススケート部	226,546
14	アメリカン・フットボール部	198,288
15	女子バスケットボール部	192,048
体育会医学支部(全19団体中上位10団体)		
1	医学アイスホッケー部	557,197
2	医学スキー部	335,066
3	医学サッカー部	293,496
4	医学水泳部	240,371
5	医学硬式庭球部	189,730
6	医学バドミントン部	136,450
7	医学バレーボール部	131,106
8	医学ソフトテニス部	127,841
9	医学ラグビー部	119,994
10	医学ゴルフ部	115,042
団体名		援助金合計
文化系サークル連合会		1,527,435
芸術系サークル連合会		2,998,102
体育会		8,753,599
体育会医学支部		2,720,864
合計		16,000,000

平成14年度 紫峰会役員名簿	
会長	山本 興四郎 〔修士課程理工学研究科2年生父〕
副会長	田中 正造 〔筑波学都資金財団事務局長〕
副会長	斉藤 浩一 〔同窓生・文サ連初代運営委員長〕
常務理事	大森 哲郎 〔同窓生・紫峰会事務主幹〕
理事	鈴木 和男 〔医療短大1年生父〕
理事	榎田 順二 〔社会学類3年生父〕
理事	菱沼 かづ子 〔日本語・日本文化学類4年生母〕
理事	吉野 節 〔医学専門学群3年生父〕
理事	関口賢一郎 〔筑波研修センター-所長〕
理事	角海 紀雄 〔同窓生・芸サ連第3期会長〕
理事	小林 千洋 〔同窓生・体育会初代委員長〕
理事	児玉 恵利子 〔同窓生・医療短大卒〕
監事	吉永 イキ子 〔社会学類4年生母〕
監事	伊能 健 〔学生宿舎管理事務所長〕

得、売上げなど約1,300万円の収入の増加を見込んでいる。また支出の部では定額貯金解約時税金がなくなったことや、UTコレクションの仕入れが一段落したことから、約700万円の支出の減少を見込み、予備費の200万円を確保した上での次年度繰越金は約36万円となる。

平成14年度父母等入会状況が報告された。

平成14年度の学群・医療短大父母等の入会状況について、5月末時点で

の入会率が68%であり、昨年に比べて好調であり、年内に70%を越える見込みであることが報告された。

筑波大学開学30周年記念事業後援会理事でもある田中副会長より、この事業への賛同の依頼があり、紫峰会として積極的に協力していくことが確認された。

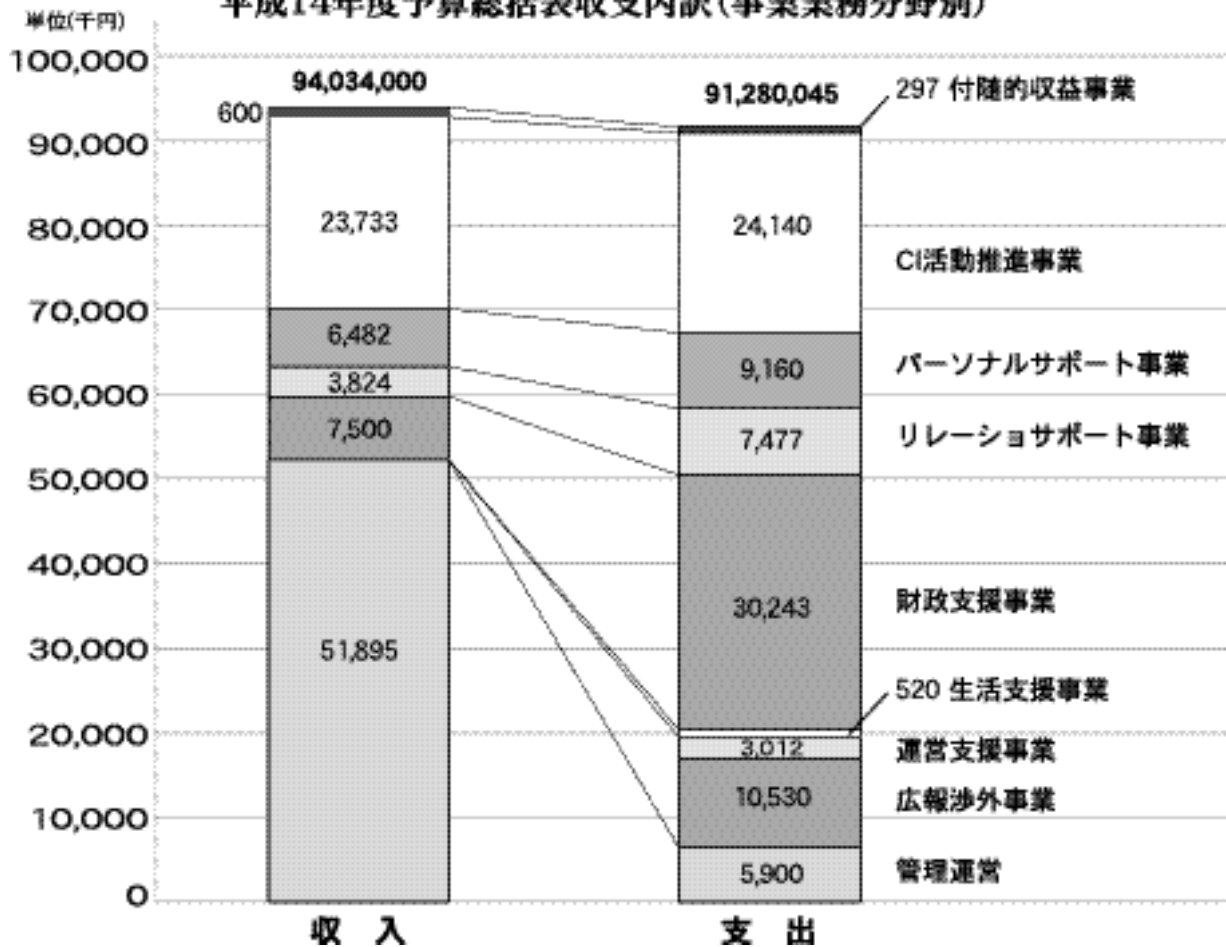
理事会終了後、紫峰会役員・顧問・三系学生・紫峰会関係学生を交えての懇親会が和やかに行われた。

## 開学30周年記念募金について

ご父母や会員の皆さま宛に、紫峰会報81号に開学30周年記念事業の募金趣意書を同封させて頂きましたが、8月31日時点で527名の方からご寄付を頂いており、誠に感謝しております。

引き続き募金が行われておりますので、皆様の格別のご高配・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年度予算総括表収支内訳(事業業務分野別)



## 平成14年度紫峰会協賛会員(平成14年9月1日現在)

三井住友海上火災保険株式会社  
 黒田印刷株式会社  
 有限会社グッドライフ  
 株式会社ジャスティア  
 有限会社ネクスト  
 有限会社柿本ハウジング  
 ホテルスワ  
 株式会社リクルートスタッフィング  
 株式会社システムポート筑波  
 有限会社うらじゅ  
 ラグーン  
 ホテル松島  
 筑波国際アカデミー  
 オルガノ株式会社  
 株式会社アジア住販

日本流通企画株式会社  
 有限会社アテック  
 エスアイアイ販売株式会社  
 富士アウトソーシング株式会社  
 株式会社筑波学園自動車学校  
 株式会社スタッフサービス  
 株式会社NSP(日清製油グループ)  
 株式会社エフ・ディー・シー  
 株式会社フォーラムエンジニアリング  
 株式会社茨城計算センター  
 寺島薬局株式会社  
 沼尻産業株式会社  
 新光証券株式会社  
 日本情報産業株式会社  
 日本精工株式会社

豊商事株式会社  
 北越製紙株式会社  
 関彰商事株式会社  
 エール不動産  
 ヘアー・スタジオ ピース  
 ヘアー・ブティック アートM  
 メンズサロン 髪  
 mini-mini  
 有限会社ホソダ  
 高麗  
 平塚デンタルクリニック  
 KMサービス  
 美津濃商事株式会社  
 《特別会員》  
 財団法人筑波学都資金財団

## Circle Headline

### 女子サッカーフェスティバルを終えて

8月6日から10日までの5日間、筑波大学において全国大学女子サッカーつくばフェスティバルが開催されました。今年で10回目を迎えるこの大会は、全国各地の大学女子サッカーチームが一堂に会するという大学女子サッカー界では最も大きなイベントの一つですが、毎年私たち筑波大学女子サッカークラブが主催し、準備・企画から実行・運営までのすべてを担っています。

準備は5月頃から始まります。実行委員長の下、全国80あまりの大学女子サッカー部への参加申込書の配布を始め、それぞれの係の担当ごとに準備を進めてきました。特に7月の下旬からはパンフレットの原稿作りから使用するグラウンドの状態をよくするためのポイント打ちや草むしりなど様々な大会の準備をこなし、その間にはもちろん大会に向けての練習も行います。そして、大会期間中は自分たちの試合に出場しつつ、大会本部として大会のスムーズな運営のために動き回ります。

この大会は、大学の女子サッカー部



ボールを競り合う筑波大19番浅香選手

### 体育会主な秋の試合予定

アーチェリー部 関東国公立大学新人戦10/27 アメリカンフットボール部 関東大学アメリカンフットボールリーグ・対東海大学10/5・対早稲田大学10/13・対帝京大学10/20 弓道部 関東学生弓道選手権大会リーグ戦・対茨城大学(男子)対宇都宮大学(女子)10/13・対高崎経済大学(男子・女子)10/20 サイクリング部 JAPAN CUP アマチュアロードレース10/26 柔道部 全日本学生柔道団体優勝大会10/5~6 漕艇部 全日本新人選手権競漕大会10/4~6 東日本新人選手権競漕大会10/12~13 体操部 OSAKA体操祭10/20 体操競技部 関東学生新人体操競技選手権大会10/4~6 ダンス部 富士羽衣シルフィード10/13 女子バスケットボール部 関東女子学生バスケットボールリーグ戦・対東京学芸大学10/5~6・対日本女子体育大学10/12~13 秋季Jr大会10/26~27 女子ハンドボール部 関東学生秋季リーグ戦・対日本体育大学10/5・対国士舘大学10/6・対日本女子体育

はまだまだ数が少なく、人数も足りないチームもある中で、「少しでも多くのチームと試合を行う機会を作りたい。少しでもみんながサッカーを楽しめるようにしたい」という気持ちから生まれ、続いている大会です。全国から集まる、「サッカーがしたい」という同じ思いを抱いた大学の女子選手たちがこの大会を少しでも楽しめるように、そして自分たちも同じ思いで楽しみつつ、この大会を運営しています。

大会のアンケートを集計して今年度の運営を終えると、もう来年の準備が始まります。来年もまた、同じ思いを抱いた全国の仲間たちにこのつくばで会えることを楽しみにしています。(寄稿/女子サッカークラブ 佐野晶子・体育2年)

### 社会福祉研究会夏合宿

我々社会福祉研究会(以下社福)はメンバー数が150人を越える大きなサークルです。五つのグループに分かれて、児童養護施設での学習指導や、知的障害者更生施設でのレクリエーションなど、それぞれで独立して活動を行っています。普段はバラバラである各グループですが、「福祉」という基本理念は共通しています。そして、毎年、サークル全体から希望者を募り、普段とは違う福祉活動を行うべく夏に合宿が開催されます。今年のテーマは、現在、サークル内で新たな活動領域としてグループを立ち上げようと考えている「高齢者福祉」ということで、茨城県日立市にある「日立市萬春園」と「かねはた」の二つの老人ホームにお邪魔させていただきました。老人ホームでの主な活動は利用者の余暇活



合宿では海岸でバーベキューを楽しんだ動充実の為の手伝いをさせてもらう事です。しかし、今回は施設見学や実際の活動体験、職員の方々のからのお話などを通して高齢者福祉に関する勉強をさせていただいた、と言ったほうが良いでしょう。「全員に満足の行くサービスを提供したいが、制度によって与えられるサービスに制限が課せられてしまう」といった理想と現実とのギャップの話等、改めて福祉について考えさせられる機会でした。

合宿は福祉活動を行うことも一つの目的ではありますが、普段あまり交流の無い他のグループのメンバーとの親睦を深めるよい機会にもなります。合宿の最終日、参加者全員で雨の降る浜辺でバーベキューを行いました。社福では他にも、クリスマスパーティーや、活動を続けるうちに出てきた問題について話し合う座談会等、全体での交流を図る行事を年間を通して開催しています。こうして、私たちは一つのサークルとしての理念を共有しているのです。

このように、活動を通して多くの人々との触れあい、交流が得られることが我々の大きな活力ともなっています。これからも、活動の中で様々なことを学びながら、その輪を広げていきたいと思っています。(寄稿/社会福祉研究会 林陽平 人間2年)

大学10/12・対東京女子体育大学10/13 ヨット部 関東学生秋季ヨット選手権・予選10/3~6・決勝10/12~13 ラグビー部 関東大学ラグビー対抗戦・対日本体育大学10/5・対慶応大学10/13・対早稲田大学10/20 関東大学Jr選手権・対東海大学10/14・対流通経済大学10/26 陸上ホッケー部 秋季関東学生ホッケーリーグ・対東京農業工業大学(男子)対山梨英和大学(女子)10/6・対中央大学(男子)10/13・対横浜市立大学(男子)慶応大学(女子)10/27 心身統一合気道会 茨城県支部演武発表会10/20 オリエンテーリング愛好会 第25回筑波大大会10/20 東日本大会11/27 女子サッカークラブ 関東大学女子サッカーリーグ戦・対日本体育大学10/5・対東京女子体育短期大学10/13・対東京学芸大学10/20・対早稲田大学10/27 トライアスロンクラブ スプリント選手権10/20 ライフセービングクラブ 全日本学生ライフセービング選手権大会10/12~13

## 落語研究会「パラソル寄席」

7月28日、土浦駅前ウララビル5階の県南生涯学習センターで、落語研究会の夏の恒例行事である落語会を行いました。今回は目新しさと夏らしさを意識して名前を「パラソル寄席」と命名し、会員から出演者を募集しました。夏休み中ということもあり、14人もの方がネタ・落語やコント・をやりたいという意気込みを示したため、話し合った結果、全員が参加できるよう前半・後半・ハーフタイムの三部構成で行うことになりました。

当日は、日曜の午後でかつデパートと同じ建物に会場があるという好条件に恵まれたため、いつも以上にお客さんが来てくれました。このため全員がかなりのやる気を持って演じることができ、良い落語会にすることができました。今回は落語をメインにコントと大喜利を間に挟む形式で行いました。大喜利は本来、全出演者が一度に舞台に出て寄席の最後に行われるのが慣例なのですが、落語会自体の時間が長いために最初から最後まで見られないお



大喜利で盛り上がる会場

客さんもいらしたことを考えると、良い形式であったと思います。

今回の落語会は出演者が多く、構成も工夫しました。その甲斐もあってか、多くのお客さんに御来場頂き、この皆さんに満足してもらえるよう頑張りました。しかし、まだ改善の余地もあると思います。もっと稽古をして、より多くのお客さんがまた来たいと思うような面白い落語やコントができるよう努力をしていきたいです。(寄稿/落語研究会 伊藤勝人・資源3年)

## 東医体結果報告

この夏休み7月から8月にかけて、第45回東日本医科学生総合体育大会(東医体)が開催され、筑波大学は空手、剣道、硬式テニス、ゴルフ、サッカー、柔道、準硬式野球、水泳、ソフトテニス、卓球、バスケットボール、バドミントン、パレーボール、ハンドボール、ラグビー、陸上、ヨットの競技に出場しました。今回はこれらの種目のうち好成绩であったものを抜粋して報告します。

- 医学空手道部
- 団体組手女子・優勝
- 医学剣道部
- 個人男子・準優勝(鳴本敬一郎)
- 医学ゴルフ部
- 団体女子・3位入賞
- 医学柔道部
- 個人男子軽重量級・3位(島田慎吾)

医学準硬式野球部・準優勝  
医学水泳部

- 男子 100m自由型・2位(竹内純平)
- 200m自由型・1位(竹内純平)
- 400m自由型・1位(塚越裕太)
- 800m自由型・1位(塚越裕太)
- 200mフリーリレー・2位
- 800mフリーリレー・2位
- 女子 50m平泳ぎ・1位(宇内景)
- 100m平泳ぎ・1位(宇内景)

医学ソフトテニス部

個人女子・3位(志村・廣瀬)

医学卓球部

団体男子・優勝 団体女子・準優勝

男子ダブルス・3位(塚田・日野)

医学バドミントン部

団体女子・準優勝、女子シングルス・準優勝(神村麻穂子)、女子ダブルス・準優勝(神村・松岡)

医学ハンドボール部

男子・4位

医学ヨット部

個人戦総合・優勝(西畑・金沢)

(文責/体育会医学支部広報局長 橋木浩平・医学3年)



東医体二連覇を成し遂げた医学卓球部

## 芸サ連 秋の定期演奏会の予定

秋は芸サ連所属団体による大規模な演奏会が数多く催され、現在どの団体も発表に向けて練習の真っ最中です。その成果をぜひご覧下さい。

合唱団むくどり第22回定期コンサート

10月29日(火) 18:30開場・19:00開演

於ノバホール(つくばセンタービル内) 入場無料

筑波大学管弦楽団第52回定期演奏会

11月4日(月) 13:30開場・14:00開演

於ノバホール 入場券 当日 1000円・前売800円

筑波大学吹奏楽団第48回定期演奏会

10月26日(土) 17:30開場・18:00開演

於ノバホール 入場券 前売 大人400円 小人200円  
当日 大人500円 小人300円

\*定期演奏会以外でもイベントに参加しています\*

日本民謡協会全国大会(津軽三味線倶楽部無絃塾が参加)

10月19日(土) 両国国技館 入場料未定

## 筑波大学応援団桐葉第十二回桐葉ノ舞

日時: 11月1日(金)

17:30開場

18:00開演

場所: ノバホール

(つくばセンター内)

入場料: 無料

問合せ: 塩沢(社工3年)

090-6002-6766



昨年の演舞会「桐葉ノ舞」より

私達は日頃、体育会各部の応援を中心に活動しています。しかしこの桐葉ノ舞ではその活動の集大成として、一年間培ってきた応援技術を余すところ無く披露いたします。内容はリーダー部・チアリーダー部・マーチングバンド部の三部による演舞、つくばおろし、チアリーディング、マーチングドリル、演芸などです。入場料は無料となっていますので、皆様お誘い合わせの上、是非ご来場下さい。

# 雙峰祭

~ Break Mass Concept ~

2002年10月

12

sat

13

sun

14

mon

10月12日～14日に第28回筑波大学学園祭「雙峰祭」が開催されます。本年度は300を越える一般企画、様々な本部企画（下記参照）などが予定されています。秋のさわやかな休日に、雙峰祭にお越しください。なお、企画の詳細は雙峰祭ホームページにも順次掲載されております。是非ご覧ください。

## 大塚英志講演会

日時：10 / 13 (日)

開場：12 : 30 開演：13 : 00

会場：第一学群H棟201 教室

(大塚氏略歴) 1958年生。筑波大学第一学群人文学類卒。専攻は日本民俗学。漫画原作者・ジュニアノベルズ作家・評論家として活躍。

## 松美池ステージ企画

BLACK BOTTOM BRASS BAND (BBBB) LIVE

7人編成のニューオリンズスタイルのブラスバンド。近年ではRIPSLYME、クラムボン、玲葉奈など様々なアーティストとコラボレーションを行っている。

日時：10 / 12 (土) 12 : 00 ~ 13 : 00

会場：松美池ステージ 雨天中止

## フリーマーケット祭

日時：10 / 13 (日)・14 (月)

11 : 00 ~ 16 : 00

場所：二・三学前芝生

## こども企画

「ちびっこ ゆうしゃのでんせつにつき！」

日時：10 / 14 (月)

12 : 00 ~ 13 : 00

場所：松美池ステージ 雨天中止

「ぼくらのひみつきちだいさくせん」

日時：10 / 12 (土)・13 (日)

11 : 00 ~ 16 : 00

場所：第一学群B棟202 教室

「べたんこラリー2002」

日時：学園祭全日11 : 00 ~ 16 : 00

## NASDA見学ツアー

日時：10 / 13 (日)

13 : 30 ~ 16 : 30 (予定)

場所：宇宙開発事業団つくば宇宙センター 受付：二・三学案内所横特設テント

## 映画上映

『ロード・オブ・ザ・リング』

日時：10 / 12 (土) 13 : 30 上映開始

場所：大学会館講堂

## 後夜祭DISCO

日時：10 / 14 (月)

19 : 30 ~ 21 : 30

場所：石の広場 UNITE ステージ  
DJ AKiとVJ pal graphics 出演  
雨天中止

## アクセス

自動車 常磐自動車道桜土浦I.C. - 国道354号 - 県道55号 - 筑波大学  
鉄道 JR常磐線ひたち野うしく 駅東口・荒川沖駅東口・土浦駅西口から関東鉄道バス「筑波大学中央」行き「大学会館」下車

バス 東京駅八重洲南口より常磐高速バス「つくば号」利用。終点つくばセンター下車 関東鉄道バス「筑波大学中央」行き「大学会館」下車

【問い合わせ】学園祭実行委員会室

TEL/FAX 0298 (53) 2899

<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/sohosai>

<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/sohosai/mobile>

## 雙峰祭での文サ連・芸サ連の主な発表等

【文サ連】 宇宙工学研究会 あきのロケット(ペンシルロケットの発射) 12・13日 園芸クラブ 園芸屋さん(観葉植物等の販売) 華道クラブ 華展 12・13日 現代視覚文化研究会 バトルフィーバーGSK(自主制作映像・ゲーム・イラストの投票) 茶道部和敬清寂社 神無月茶会13日 児童文学研究会 鈴星屋(駄菓子・玩具等の販売、射的) 社会福祉研究会 シャフクール パフェ こんにちは・しゃぶくん!(パフェと展示) 手話サークル 手話劇 天文研究会 プラネタリウム上映 天体写真展 公開観望会 宇宙探検隊 ねっしー自然教育研究会 ねっしーのひろば(活動紹介・子供向けコーナー等) 飛行機研究会 琵琶湖に舞った僕らの夢(2002年度鳥人間コンテスト参加機体の展示) Vicc - 映画を創る会 - 創った映像流してますよ11:30 ~

野生動物研究会 野動研王国とゆかいな仲間達(エコキャンパスプロジェクト等) 野動研王国のみやげ屋(生き物絵葉書の販売)

【芸サ連】 ELL ライヴ 終日10:00 ~ 応援団桐葉 松美池ステージ 12日15:00 ~ 合唱団むくどり むくどりミニコンサート 14日15:00 ~ ギター・マンドリン部 コンサート 14日午後 劇団竹蜻蛉 田村vsパジェロ 13:00 ~ 混声合唱団 歌声喫茶 写真部 学園祭写真展 9:00 ~ 17:00 JAZZ愛好会 Full House 9:00 ~ 書道部 書展 吹奏楽団 アンサンブルコンサート 12日13:15 ~ 津軽三味線倶楽部無絃塾 津軽三味線ライブ 13日18:40 ~ 19:40 つくばフォーク村 ユニステライブ 12日13:30 ~ ライブハウス 13日 筑波放送協会 上映会 人形劇団NEU 子供企画14日12:30 ~ ピアノ愛好会 コンサート 14日11:00 ~ フォルクローレ愛好会 南米民族音楽レストラン12:00 ~ 舞踏研究会 ダンスデモンストレーション 14日14:30 ~ ブロックフレーテ同好会 たてぶえのつどい 12日2:00 ~ 14:00 ~ 13日15:40 ~ 邦楽部 邦楽堂やうかん 12・13日10:00 ~ 焼き物を作る会 展示即売会 落語研究会 筑大寄席